

みんなで協力 やればできる!!

みんなで協力

運動会は、運動が得意な子どもがさらに運動が好きになることはもちろん、運動が苦手な子どももその楽しさを知る場です。運動は嫌いだけど運動会は好きという子どももいると思います。運動が苦手が子どもは、かけっこで負けたり、失敗したりして楽しさを知る機会がないのではないか?と思いませんか?しかし比べる相手は他の子どもではなく、過去の自分です。植柳小はすべてに全力でチャレンジする姿を支援し、その力を伸

ち、どちらかが負けるわけですからお互いの健闘をたたえ合う気持ちを学ぶ場が大切です。また、フェアプレーも人との関りで大切になります。ズルされて負けたら、健闘をたたえ合う気持ちにはなれません。正々堂々と勝負したうえでの勝利にこそ価値があることを学ぶ場もあります。

チームや団体で取り組むリレー や綱引きなど、友達と協力（関わり合つて）競技する種目もありますが、友達と頑張ることで、

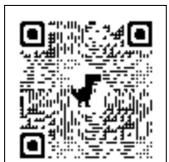
「責任感」を持たせる

最後に、高学年になると運動会の運営にも携わります。与えられた仕事をやりとげることで责任感や自尊感情を育むことができます。「運動会が終わって急に成長した」という話をよく聞きますが、それは運動会を成功させるために自覚と責任を持つ取り組むことができた証だと思います。

A group of approximately 15 young children, mostly boys, are standing in a line on a baseball field. They are all wearing matching white t-shirts with a logo and dark blue shorts. They are wearing white baseball caps. The background shows a chain-link fence, trees, and a building under a clear blue sky. In the foreground, a white rectangular box contains the text: "白団応援団の自己紹介と決意表明".

A group of young boys in white shirts and blue shorts are standing in a line on a sports field. They are holding a red flag. They are participating in a school sports event.

A decorative header element consisting of a stylized, eight-pointed sunburst or flower design in black, centered above a vertical column of Japanese text. The text is written in a traditional brush-style font (fudeō) and reads "かづさく" (Kazu Sakutei).



R7年10月10日
文責・校長

また、「去年より速く走れた！
去年よりうまくダンスができた！」
など、過去の自分より成長していることを感じて、運動の楽しさを味わっていきます。そして、運動会が終わって子どもたちから「楽しかった！」と言う声をたくさん聞きたいと思います。

団結力や連帯感を学ぶことがで
きます。高学年がリーダーシッ
プをとつて動く応援合戦もそ
うです。みんなで声を出し、体を
動かすことでチームの一員であ
るという自覚と誇りを持たせる
意味があると思います。

「**自主、自立、自信**」子供のやればできるの体験を支える学校づくり

— 団結力や連帯感を学ぶことがで
き。高芝三郎／ゲノソウ

植柳小学校では、以上のような観点で運動会に向けて子供たちを指導していきます。

